

機械設備工事特記仕様書		項目	特記事項	種目	適用	項目	特記事項	種目	適用	項目	特記事項		
概要	工 事 概 要	工事名称	長浜北小学校消火ポンプ取替修繕	1 別途工事との連絡協議 2 シンナー等の保管管理 23 フロンの回収等 24 工事の作成登録 25 施工体制点検 26 過積載の防止措置 27 技術検査 28 施工上の留意事項 29 再生資源利用計画書 30 工事用排水 31 騒音振動の防止 32 建設ワケ法の遵守 33 各種届出 34 仮設電力 35 現場代理人 36 運搬車表示 37 軽微な変更 38 不当要求 39 竣工検査 40 既設設備関係 41 公害対策 42 建設副産物の適正処理 43 産業廃棄物の処理等 44 発生材の処理 45 石綿含有建材の事前調査制度 46 保険等 47 監督員事務所 48 安全対策 49 統括安全衛生管理義務者	21 別途工事との連絡協議 22 シンナー等の保管管理 23 フロンの回収等 24 工事の作成登録 25 施工体制点検 26 過積載の防止措置 27 技術検査 28 施工上の留意事項 29 再生資源利用計画書 30 工事用排水 31 騒音振動の防止 32 建設ワケ法の遵守 33 各種届出 34 仮設電力 35 現場代理人 36 運搬車表示 37 軽微な変更 38 不当要求 39 竣工検査 40 既設設備関係 41 公害対策 42 建設副産物の適正処理 43 産業廃棄物の処理等 44 発生材の処理 45 石綿含有建材の事前調査制度 46 保険等 47 監督員事務所 48 安全対策 49 統括安全衛生管理義務者	2 給 水 設 備	工事範囲及び説明 給水方式 配管材料 ●直圧式 ○加圧式 ○重力式 屋外埋設配管：●硬質塩化ビニル管 HIVP ○ビニルライニング鋼管 VD ○ポリ粉体ライニング鋼管 PD ○ポリエチレン管 PE 屋内埋設配管：●硬質塩化ビニル管 HIVP ○ビニルライニング鋼管 VD ○ポリ粉体ライニング鋼管 PD 屋内配管：○ビニルライニング鋼管 VA ○ポリ粉体ライニング鋼管 PA ●硬質塩化ビニル管 HIVP 施工は標準図による。 水圧試験を行い漏水のないようにする。 ライニング鋼管には管端防食継手(埋設部は外面樹脂被覆型)、管端防食型弁、ライニング弁を使用する。 飲水試験(10項目+残留塩素)を行う(1箇所)。	11 暖房設備 12 冷房設備 13 空調機 14 追記	工事範囲及び説明 冷温熱源機 空気調和機 放熱器 空調機室内機 配管材料 ●床置型 ○天井吊型 ●天井埋込型 ●天井カセット型 ●床置ダクト型 冷温水管：○水適用面給つき鋼管 ○耐熱性ビニルライニング鋼管 冷卻水管：○水適用面給つき鋼管 ○ビニルライニング鋼管 VA ○水適用硬質塩化ビニルライニング鋼管 SGP-VA 冷媒配管：○脱酸銅管 L ●断熱材被覆鋼管(国土交通省仕様) 排水配管：●硬質塩化ビニル管 VP 油配管：○SUS304溶接鋼管 ○圧力配管用炭素鋼管(黒)	11 暖房設備 12 冷房設備 13 空調機 14 追記 事 項	工事範囲及び説明 給水方式 配管材料 ●直圧式 ○加圧式 ○重力式 屋外埋設配管：●硬質塩化ビニル管 HIVP ○ビニルライニング鋼管 VD ○ポリ粉体ライニング鋼管 PD ○ポリエチレン管 PE 屋内埋設配管：●硬質塩化ビニル管 HIVP ○ビニルライニング鋼管 VD ○ポリ粉体ライニング鋼管 PD 屋内配管：○ビニルライニング鋼管 VA ○ポリ粉体ライニング鋼管 PA ●硬質塩化ビニル管 HIVP 施工は標準図による。 水圧試験を行い漏水のないようにする。 ライニング鋼管には管端防食継手(埋設部は外面樹脂被覆型)、管端防食型弁、ライニング弁を使用する。 飲水試験(10項目+残留塩素)を行う(1箇所)。	11 暖房設備 12 冷房設備 13 空調機 14 追記 事 項	工事範囲及び説明 冷温熱源機 空気調和機 放熱器 空調機室内機 配管材料 ●床置型 ○天井吊型 ●天井埋込型 ●天井カセット型 ●床置ダクト型 冷温水管：○水適用面給つき鋼管 ○耐熱性ビニルライニング鋼管 冷卻水管：○水適用面給つき鋼管 ○ビニルライニング鋼管 VA ○水適用硬質塩化ビニルライニング鋼管 SGP-VA 冷媒配管：○脱酸銅管 L ●断熱材被覆鋼管(国土交通省仕様) 排水配管：●硬質塩化ビニル管 VP 油配管：○SUS304溶接鋼管 ○圧力配管用炭素鋼管(黒)

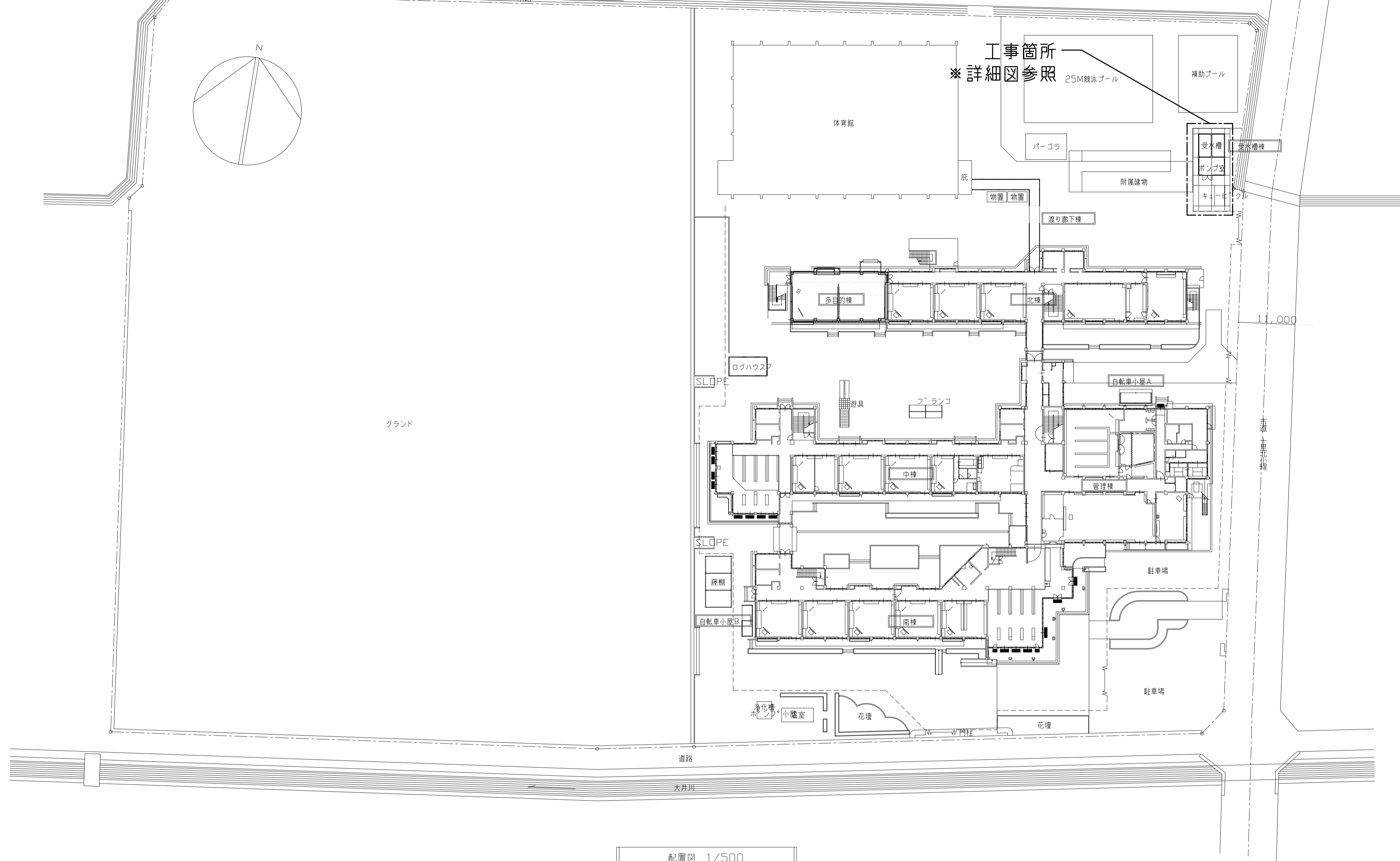
1. 図面及び仕様書に記載されていない事項は、すべて、国土交通省大臣官庁官庁官署建設部監修公共建築工事標準仕様書及び公共建築改修工事標準仕様書、公共建築設備工事標準図の最新版による。

No	名称	構造	床面積(㎡)		延面積(㎡)	備考
			1階	2階		
1						

項目	特記事項
適用項目	一般共通事項の扱いは、*印を付したものを適用する。
1 施工基準	イ 本工事は、工事請負契約書及び同約款を遵守し、本特記仕様書、図面及び共ににより完全に施工する。 なお、上記相互間に相違のある場合は優先順位は記載の順序とする。 ロ 必要の関係諸官庁への申請手続き等は、全て請負人の負担とする。 ハ 本図は工事の大要を示すものであるから、詳細位置等については監督職員と打合せの上、その指示に従い施工する。 ニ その他関係諸法規に基づき完全に施工する。 国土交通省大臣官庁官庁官署建設部監修機械設備工事監理指針(最新版)に準ずる 施工に際し、施工手引き書である機械設備工事施工チェックシートに従う。
2 監理指針	
3 施工監理	
4 完成図	竣工時に完成図を作成し、2部製の上、提出する。(CADデータ共)
5 工事写真	区分 分組・規格 撮影枚数 部数(枚数に付) 備考 着工前 かー・サ・ビス ③・⑤・7 3 状況により写真 工事中 かー・サ・ビス 6・⑩・20 1 必要に応じ 完成時 かー・サ・ビス ③・⑤・7 3 定期提出 かー・サ・ビス 2 月末報告用
6 技術管理	完成写真の撮影場所は監督職員の指示による。工事写真は全て工事写真帳に貼付け提出する。 写真撮影は、国土交通省大臣官庁官庁官署建設部監修「工事写真撮影ガイドブック」に準ずる。 請負人は、建設業法で定める専任の技術者を任命を行い、現場に派遣し、技術管理に当たると共に建築主体工事、電気設備工事、その他関連工事についてその施工者と綿密な連絡をとり全工事に支障なき様施工する。
7 下請業者	各種下請業者、機材材料等関係で供給できるものについては、優先市内業者、市産品を選定することとし、製品等は特記されたものまたは同等品以上とする。ただし、同等品以上とする場合は、監督職員の承認を受けなければならない。
8 技術士	適用工事種別 ・配管施工：1級 ・熱絶縁施工：1級 ・冷凍・空気調和機施工：1級 ・建築金施工
9 検査合格等	各種検査を必要とするもの、責任施工のもの等は、各合格書または保証書及びその写し各一部を提出すること。なお、責任施工のものは、請負契約者、施工下請業者、材料製造所連名書とする。
10 建築工事との取合い	コンクリート部分の梁・壁・床の貫通部補強及び住上部分の軽量鉄骨天井下地、同型下地の開口部補強は建築工事とする事前施工用施工用図を作成し、監督職員、工事業者承認の上とする。
11 既設設備関係	施工に際し、既設内容、取合をよく調査すると共に既設設備の担当者と十分協議を行い、その機能を低下せしめてはならない。
12 公害対策	工事着手前に付した状況を調査し、公害対策は工事竣工まで講ずること。
13 建設副産物の適正処理	請負人は、建設副産物適正処理推進法を遵守し、建設副産物の発生抑制および再利用の促進に努めること。
14 産業廃棄物の処理等	請負人は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律等に基づき、マニフェストシステムにより的確に実施することとし、事前に監督職員に施工計画書を提出し、承認を得ること。
15 発生材の処理	引渡を要するもの： 1. 石綿障害予防規則および大気汚染防止法に基づき、石綿に係る事前調査結果の報告(石綿事前調査結果報告システム等を利用)を行うこと。(報告先：労働基準監督署、環境事務所) 2. 調査結果は公共の見やすい場所に作業開始前に掲示すること。 掲示板サイズ：A3サイズ(42.0cm×29.7cm)以上 3. 監督職員に調査の結果を報告し、設計図面と内容が異なる場合は協議を行うこと。 4. その他 調査範囲 ○当該施工範囲 図示 貸与書類 ○建設当初図面 ○石綿調査報告書
16 石綿含有建材の事前調査制度	
17 保険等	請負人は、工事目的物に付する工事保険や労働災害保険及び第三者への対人賠償、対物賠償の損害を保証できる保険に加入し、その証書の写しを監督員に提出すること。 また、工事中に万一事故が発生した場合は、速やかに監督員に連絡すること。
18 監督員事務所	規模：1号・2号・3号・4号・5号 設けない 備品：机、いす、書棚、黒板、製図板、ゴム長靴、雨がっぱ、保護帽、請負者加入電話の子機、衣類ロッカー、冷暖房機器、消火器等監督職員の指示による。
19 安全対策	工事車両の出入りについては、危険防止に努めること。又、必要に応じて交通整理員を配置すると共に、近隣家屋に騒音、振動等公害発生をなき様留意し、全般に支障なき様万全の策を講ずること。 また、施設運営についても、担当者として協議を行い支障なき様努力すること。
20 統括安全衛生管理義務者	労働安全衛生法第30条第2項の統括安全衛生管理義務者には、(建築工事 電気設備工事 機械設備工事)の請負人を指名する。

項目	特記事項
21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49	

種目	適用	項目	特記事項
1 受水設備		工事範囲及び説明	○要 ●不要 ●貸与 ○本工事 (既設：FRP 新設：SUS) 製、容量(有効2) ton、耐震(0.6・1.0・1.5) G □製、容量(有効) m3、耐震(1.0・1.5・2.0) G 口徑(50)mmφ×(47・33)mH×(3.7)kW 2台自動交互運転 口徑( )mmφ×( )mH×( )kW 屋外埋設配管：●硬質塩化ビニル管 HIVP ○ビニルライニング鋼管 VD ○ポリ粉体ライニング鋼管 PD 屋内埋設配管：●ビニルライニング鋼管 VB 屋内配管：●ビニルライニング鋼管 VA ○ポリ粉体ライニング鋼管 PA 施工は標準図による。 上水道本管からの分岐工事は長浜水道企業団指定給水装置工事業者が行うこと。 水圧試験を行い漏水のないようにする。 飲水試験(10項目+残留塩素)を行う(1箇所)。
2 給水設備		負担金等 量水器 受水タンク 高置タンク 揚水ポンプ 給水ポンプ 配管材料	
3 保温工		保温工 水圧試験 水質試験	



配置図 1/500

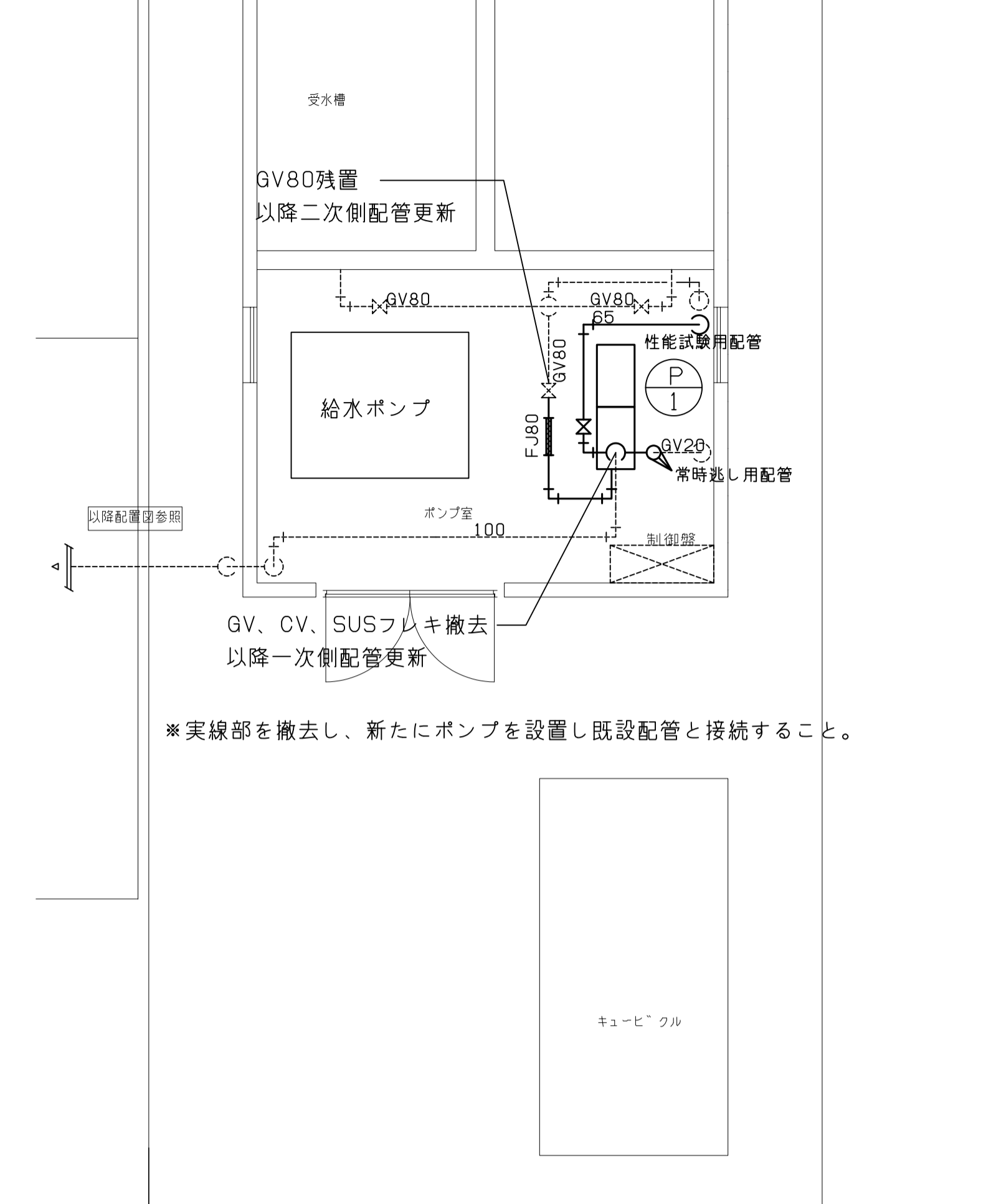
機器表 (撤去)

記号	名称	仕様	台数	設置場所	備考
P-1	消火ポンプ	・出力15kW ・多段渦巻型 ・スターデルタ起動方式 ・揚程：55m ・吐出量：750L/min ・接続口径80A	1	ポンプ室	GV CV 圧力計 連成計 流量計 SUSフレキ共 製造：川本製作所 品番：KT2-806-15F5

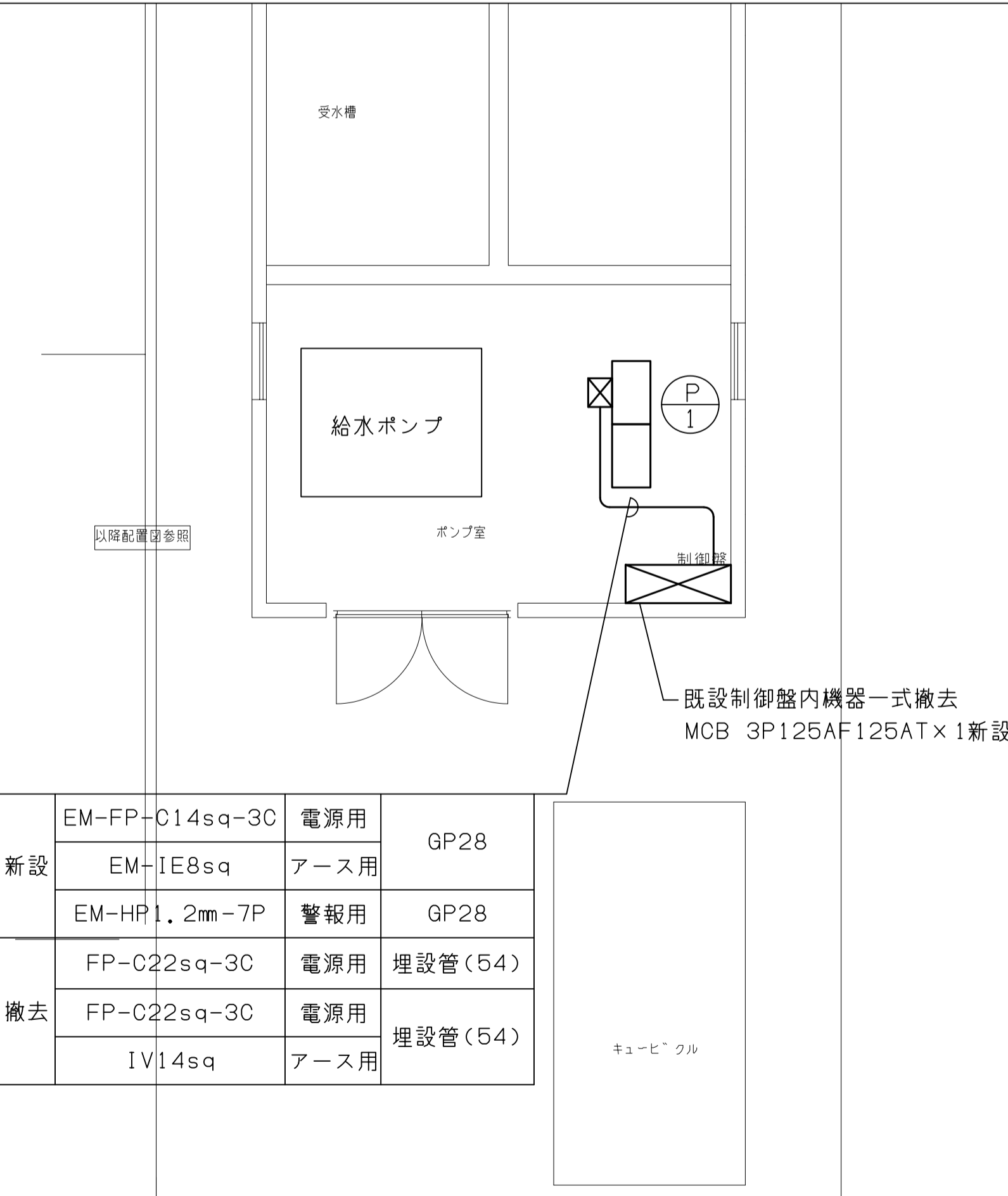
機器表 (新設)

記号	名称	仕様	台数	設置場所	備考
P-1	消火ポンプ	・出力7.5kW ・流し込み運転型 ・吐出量300L/min ・全揚程87m ・吸込口径50A ・吐出口径40A ・消火ポンプユニット 流し込み用 モータ軸直結型ポンプ 制御盤 常時逃しオリフィス 圧力計 連成計 性能試験装置 ヒータ付 ・消防認定品	1	ポンプ室	流量計、SUSフレキ共 ケミカルアンカー新設(M16×200) 参考品番：KTK506CE7.5F (川本製作所)

※本工事にかかわる関係官公庁に関する一切の申請・協議書類作成ならびに、手続きを遅延なく行うこと。  
また、それに必要な費用はすべて請負者の負担とする。  
※既設設備についての消防署からの許可書類等は存在しないものとし、現存する図面及び現地を調査のうえ新規に必要な書類を作成すること。  
※石棉障害予防規則および大気汚染防止法に基づき、石棉に係る事前調査結果の報告(石棉事前調査結果報告システム等を利用)を行うこと。(報告先：労働基準監督署、県環境事務所)  
※既設配管保温材は石棉含有である。関係法令に従い、適正に取外し、処分すること。(マニフェスト提出)



※実線部を撤去し、新たにポンプを設置し既設配管と接続すること。



新設	EM-FP-C14sq-3C	電源用	GP28
	EM-IE8sq	アース用	
撤去	EM-HP1.2mm-7P	警報用	GP28
	FP-C22sq-3C	電源用	埋設管(54)
	FP-C22sq-3C	電源用	埋設管(54)
	IV14sq	アース用	